



＜今月の1枚＞ 赤ちゃんのおはなしばたけ

## 他人のおにぎり

リモートワークやオンライン授業になり、直接人と関わる機会が少なくなっているという報道を目にします。心が病んでしまったり、学校や仕事をやめてしまったりする人も少なくないようで、人と人との関わり合いは生きていく上で、大切なものなのだと感じさせられました。

そんな人との関わりについて、ある大学の入学試験で出されたという問題に、私は深く考えさせられました。その問題は次のとおりです。

あなたは高校の先生です。ある日、授業の一環として稲刈りの体験作業を行うため、田舎の農家へ生徒を連れて出かけました。稲刈りの体験作業の後、農家のおばあさんがクラスの生徒全員におにぎりを握ってくれました。しかし、多くの生徒は他人の握ったおにぎりは食べられないと、たくさん残してしまいました。

問1、あなたは、おにぎりを食べられない生徒に、どのような指導をしますか？

問2、あなたは、この事実をおばあさんにどのように話しますか？

私の心情的には「みんなのために握ってくれたのだから、食べなさいよ！」と言いたいところではありますが、「他人が触れたものは食べられない」という人も少なからずいると思うので、考えを尊重しなくてははいけない。でも、おばあさんも悲しませたくない。相反する2つの思いをどうすれば両立できるかで、悩んでしまいました。「こちらを立てれば、あちらが立たず」日常生活の中でも起こりえることであり、こういうことを考えながら生きることが大切なのではないでしょうか。みなさんなら、どのような答えを出しますか？

(社会教育主事 鈴木 翼)